

糖尿病・代謝内科のご紹介



糖尿病・代謝内科部長
後藤秀生

糖尿病・代謝内科は、糖尿病、脂質異常症をはじめとする生活習慣病や、甲状腺機能異常、副腎機能異常、間脳下垂体機能異常等の内分泌疾患の診断と治療を行っています。



◆ 糖尿病について

当科を受診される患者さんの多くは糖尿病です。糖尿病は、血液中の糖（血糖）の値が高くなる病気です。逆に身体の細胞が血糖を利用できなくなるために結果的に血糖値が上昇する疾患です。糖尿病患者数は増加していますが、年配の皆様も多くなっています。

◆ 糖尿病は何故、治療をしなければならないのでしょうか？

糖尿病は初期には症状がなく、定期検診や病院受診の時に初めて血糖値が高いことを発見されるケースがよくみられます。また、症状がないからと放置しているとさらに血糖値が上昇し、身体がきつい、喉がかわく、尿が多い、等の症状とともに様々な合併症も進行していることがあります。

糖尿病の合併症は主なものとしては、手足のしびれ（神経障害）、視力の低下（網膜症）、腎臓病が有名ですが、糖尿病も血管の病気であるために脳卒中(脳出血、脳梗塞)、虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)など大血管の合併症もあります。また、認知症の進行、歯周病の悪化、がんにかかりやすい、等、全身において糖尿病が悪影響を及ぼしています。

これらの合併症を予防するために、糖尿病を速やかに治療していく事が大事です。また、糖尿病の予防も重要で、体重のコントロールや適切な食事や運動を心がける必要があります。

◆ 糖尿病の治療の最新情報は？ 相談窓口は？

近年では糖尿病の治療薬は、患者さんにあわせて適切な薬を選択できるようになっています。また、週1回の内服や、あるいは週1回の注射でも良い薬剤もあります。治療が十分でない場合は、インスリン注射も必要になることがあります。患者さんにとって最適な新しい製剤も選択できます。いくつかの薬剤などを組み合わせることで有効性の高い治療が可能になっています。

患者さんの状況に応じた治療方法の調整や、その他血糖コントロール悪化に関してのご相談など、専門的にお手伝いをさせて頂き皆様の健康に貢献したいと考えています。

また、現在当院では、糖尿病の治療の基本として、食事療法を重要視し、栄養課と協力しまして栄養指導を強化していくようにしており、特に入院時は各部署のスタッフと連携して更に糖尿病教室を行っていますので、これらについてもご相談頂ければ幸いです。

分からない点は、外来受付①番にご相談ください。



糖尿病教室